

解答

1 ①ら／り／る／れ／ラ行変格活用

②な／ぬ／ぬる／ぬれ／ね／ナ行変格活用

③こ／き／く／くる／くれ／こ (こよ) / カ行変格活用

④せ／し／す／する／すれ／せよ / サ行変格活用

⑤み／ぬ／ぬる／ぬる／ぬれ／ぬよ / ワ行上一段活用

⑥け／け／ける／ける／けれ／けよ / カ行下一段活用

⑦ら／り／る／れ／ラ行四段活用

⑧い／い／ゆ／ゆる／ゆれ／いよ / ヤ行上二段活用

⑨べ／べ／ぶ／ぶる／ぶれ／べよ / バ行下二段活用

⑩ぜ／じ／ず／ずる／ずれ／ぜよ / サ行変格活用

⑪み／み／みる／みる／みれ／みよ / マ行上一段活用

2 ①ア／ナ行変格活用 / 未然形 イ／ラ行下二段活用 / 未然形

②ウ／ナ行変格活用 / 連用形 エ／ラ行変格活用 / 連用形

③オ／ワ行上一段活用 / 連用形 カ／カ行変格活用 / 命令形

④キ／ラ行変格活用 / 連体形 ク／カ行下二段活用 / 連体形

⑤ケ／カ行下二段活用 / 連用形 コ／ヤ行下二段活用 / 終止形

サ／ハ行四段活用 / 連用形

⑥シ／ラ行四段活用 / 連用形 ス／タ行四段活用 / 連体形

セ／サ行変格活用 / 已然形

⑦ソ／ラ行変格活用 / 連体形 タ／ラ行変格活用 / 連体形

⑧チ／マ行下二段活用 / 連体形 ツ／ワ行上一段活用 / 連用形

テ／ダ行下二段活用 / 連用形 ト／ナ行変格活用 / 終止形

⑨ナ／タ行下二段活用 / 連用形 ニ／カ行変格活用 / 連体形

ヌ／ラ行変格活用 / 未然形

⑩ネ／マ行上一段活用 / 連用形 ノ／ラ行四段活用 / 連体形

ハ／タ行上二段活用 / 連用形 ヒ／サ行変格活用 / 連体形
 ⑪フ／カ行四段活用 / 連用形 ヘ／ヤ行下二段活用 / 連体形
 ホ／ナ行下二段活用 / 已然形

解説

2 活用の種類・活用形

②「けり(けれ)」は連用形につく。③カ「連れてきなさい」命令形である。

⑤コ「べし」は終止形につく。サ「き」(過去の助動詞)は連用形につく。

⑥セ「ば」(…)ので。…と。確定条件)は已然形接続。⑦タ「や」の結び。

⑩ネ「見捨て」と用言に連なる。ヒ詠嘆・余情を含む連体形止め。

⑪フ「着き」連用形で文をいったん中止(中止法)。へ未然形は「見え(ズ)」。

口語訳

2

①生きている限りは忘れまい。

②死んでしまったので、所在なく(家に)籠っていた。

③どこだ、猫は。こちらへ連れてきなさい。

④黄金が入っている竹を見つけたことが重かった。

⑤年老いて再び越えることがあろうと思っただであらうか。(思いもかけないことであつたよ。)

⑥牛車(ぎしゃ)を(迎えに)つかわして待っていると、帰ってくる音がするので、

⑦本当にそういうことがあるのでしょうか。

⑧おとこは、(その連れ去られる女を)ひきとどめる方法がない。(ある人が女を)引き連れて出て行ってしまった。

⑨夏が終わって秋が来るのではない。

⑩(こ)両親様を)見捨てて申し上げ(るような形で)帰って行く空から、きつと落ちてしましそうな気持ちがある(ことです)。

⑪薪の中に、赤い塗料が付き、金箔などが(はげてしまって)所々に残っている木が、まじり合っている(、その)理由を追及してみると…